

# Artisan Tool

## 取扱説明書

## 充電式ハンマードリル モデル：ATHD02B (工具のみ)



このたびは、弊社の商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- この『取扱説明書』はお手元に大切に保管してください。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品に何かご不明な点がありましたら、いつでもお気軽に弊社までお問い合わせ

ください。

### 主要機能および標準付属品

商品質量	1.67 KG
本機サイズ	長さ 260 mm ×幅 100mm ×高さ 195 mm
電動機	ブラシレスモータ
回転数（無負荷時）	2000 RPM
打撃数（無負荷時）	4500 IPM
穴あけ能力	鉄工：13mm φ 木工：27mm φ 石工：20mm φ
最大ビット径	20 mm
シャフト形状	SDS PLUS
標準付属品	サイドハンドル×1 ビット×3

## 安全上のご注意

- ◆火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡ししてください。

## 警告表示の区分

ご使用上の注意事項は **警告**、**注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。



**警告**

◆誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



**注意**

◆誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。



**注意**

に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## ハンマードリルについての注意事項

1. 作業条件と内容を考慮して、目的に合った電動工具を用意し、アクセサリーを選定してください。
  - ◆ 目的に合っていない電動工具の使用は、事故やけがの原因となります。
2. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
  - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、ハンマードリルに支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
3. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
  - ◆ 発煙・発火の原因になります。
4. 疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりする時には、使用しないでください。
  - ◆ ハンマードリル操作中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
5. 保護面や保護めがねなどの保護具を着用してください。必要に応じて、防じんマスクや防音保護具（耳栓など）、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、手袋、作業用エプロンを着用してください。
  - ◆ 防護用具を着用することで、けがの防止につながります。
  - ◆ 防音保護具（耳栓など）を着用することで、騒音による被害を防ぎます。
6. 先端工具を交換するときは、保護手袋を着用してください。
  - ◆ 長時間使用した先端工具は、熱くなります。
7. 使用に問題がないことを確認してください。取り付けは間違いないか、可動部分が正しくしっかりとセットされているか、各部品の損傷がないか、その他問題がないかチェックしてください。損傷などがあつた場合は使用せず、修理をご依頼ください。
  - ◆ 多くの事故は、点検作業を怠ったときに起きています。
  - ◆ 損傷したハンマードリルを使用すると、故障や思わぬ事故の原因になります。
8. 加工材料は必ず安定性の良い台に置き、確実に固定してください。
  - ◆ 確実に固定されていないと、けがの原因になります。
9. 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。必ず「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ」が安全ロックの位置（中央）になっていることを確かめた上で、バッテリーを取り付けたり、ハンマードリルを持ち上げたりしてください。
  - ◆ 安全ロックの位置（中央）になっていない状態でバッテリーを取り付けたり、スイッチ部分に指が触れたりすると、事故の原因になります。

10. 雨中での作業は行わないでください。また、ハンマードリルを雨ざらしにしたり、ぬれた場所に置いたりしないでください。
  - ◆ 感電の恐れがあります。
11. 作業中は、必ず絶縁されたグリップ面でハンマードリルを保持してください。
  - ◆ 通電している電線に接触し、ハンマードリルの金属部に電気が流れると、感電の恐れがあります。絶縁部で保持していると、感電する危険が小さくなります。
12. 作業中に振り回されないよう、ハンマードリルにしっかりとサイドハンドルを取り付け、本体を確実に保持して作業してください。
  - ◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。
13. 作業中は、先端工具や回転部、切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。
  - ◆ けがの原因になります。
14. 作業中にハンマードリルの調子が悪かったり、異常音がしたりしたときは直ちに「スイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボ販売者に点検・修理を依頼してください。
  - ◆ そのまま使用していると、けがの原因になります。
15. フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、ハンマードリルが冷めるための時間を設けてください。
  - ◆ 複数個による連続作業は、ハンマードリルに支障をきたすばかりでなく、ハンマードリルの温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。
16. 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者診断を受けてください。
  - ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
17. バッテリーを乱暴に扱おうと液漏れが発生する場合があります。その場合、直接手で触れないでください。誤って触れた場合は水で十分洗い流してください。バッテリー液が目に入った場合、直ちに綺麗な水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
  - ◆ バッテリーから漏れた液は、炎症や火傷をもたらす恐れがあります。
18. 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、調整・付属品の交換・保管をするときは、必ずハンマードリルからバッテリーを取り外してください。
  - ◆ バッテリーを取り付けたままにすると、けがの原因になります。
19. 作業中は、関係者以外の人や子供を近づけないでください。
  - ◆ 気が散ると集中できなくなります。
22. 起動スイッチを引き込んだまま、ハンマードリルを持ち運ばないでください。

◆回転している先端工具が思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。

20. 先端工具が完全に停止するまでは、ハンマードリルを床やテーブルなどに置かないでください。

◆先端工具が回転していると、けがの原因になります。

24. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、先端工具やハンマードリルなどに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

◆破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

21. 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から発生する粉じんは、健康に悪影響を与える恐れがあります。作業員や見学者が粉じんを触ったり吸い込んだりすると、アレルギー反応、あるいは呼吸器感染症を引き起こす可能性があります。特に桤材やブナ材から出る粉じん、木材処理添加物（クロム酸、防腐剤）は発がん性があると考えられています。アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。

・できる限り、材料に合った吸じん装置を使用してください。

・作業場所の換気に注意してください。

・DS 2クラス以上のフィルター付き防じんマスクの着用をお勧めします。

◆作業場で粉じんの堆積は避けてください。容易に発火する恐れがあります。

22. 使用しないときは、子供の手の届かない安全な場所に保管してください。また、ハンマードリルの取り扱いや手順に不慣れな人には操作させないでください。

◆教育を受けていない人の操作は大変危険です。

◆回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

3. 作業直後の先端工具や切り粉等は高温になっていますので、触れないでください。

◆やけどの原因になります。

4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。

◆材料やハンマードリル本体などを落としたとき、事故の原因になります。

5. 細径のビットは折れやすいので注意してください。

◆飛散して、けがの原因になります。

6. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。

◆事故の原因になります。

7. コンクリートに穴あけを開始するとき、または軽破つりをするとき、コンクリートの小片が飛び散ることがあります。

◆保護めがねを着用してください。

8. コンクリートに細径の穴をあける際、急に切り粉が勢いよく噴き出すことがあります。

◆保護めがねを着用してください。

安全のため、ヘルメットおよび安全靴、騒音からの保護のため、耳栓をしてください。

## ご注意

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

◆確実にないと外れたりし、けがの原因になります。

2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。

## 充電式ハンマードリル用途

◆ コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ

◆ 木材、金属、プラスチックなどの穴あけ

◆ ネジの締め・緩め

◆ コンクリート、レンガなどの軽度な破つり

## バッテリーの取り付け・取りはずし方

### バッテリー取り付け方

バッテリーを本機の溝に合わせ、「カチッ」という音鳴り、奥まで挿入してください。

### バッテリー取り外し方

バッテリーを本機から取りはずすときは、バッテリー正面のボタンを下げながら、スライドさせると取りはずせます。



## サイドハンドルを取り付ける・取り外す

### 取り付け方

1. サイドハンドルのグリップ部分を回して、サイドハンドルの締め付けバンドを緩めます。
2. サイドハンドルを本体に差し込みます。
3. サイドハンドルを回して、作業に適した位置に合わせます。
4. 締め付けバンドが、奥まではまっていることを確認します。
5. グリップ部分を回して、締め付けバンドをしっかりと締めます。締め付け後、ガタつきがないか確認してください。ガタつきがある場合は取り付け直してください。



作業に適した位置にサイドハンドルを固定すると、作業中に安定した姿勢が取れ、疲労を減らすことができます。

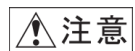
### 取り外し方

1. サイドハンドルのグリップ部分を回して締め付けバンドを緩めます。
2. 本体からサイドハンドル12を抜き取ります。



**警告**

けがの発生を防ぐため、サイドハンドルを取り付けたり取り外したりする時は、バッテリーをハンマードリル本体から取り外してください。



**注意**

取付る時は、スリーブに触れないよう、しっかりと奥まで差し込んでください。スリーブに接触した状態で固定するとスリーブが損傷します。

## SDS プラスシャンクの先端工具（または別売アクセサリ）を取付・取外

### 取り付け方

1. 先端工具を取り付け孔に差し込み、少し回してかみ合うところを探します。
2. かみ合ったところで、さらに深く差し込み固定します。
3. 確実に取り付けられたかどうか、先端工具を引いて抜けないことで確認します。

## 取り外し方

スリーブを後方へ引きながら、先端工具を抜き取ります。



**警告**

けがの発生を防ぐため、先端工具を取り付けたり取り外したりする時は、バッテリーをハンマードリル本体から取り外してください。



**注意**

穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。

◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。

◆ 本体の故障を防ぐために、防じんキャップに異常がないか確認してください。損傷がある場合は交換が必要です。

## 深さゲージを取り付ける・取り外す

### 取り付け方

1. 「深さゲージ調節ボタン」を押しながら、深さゲージを差し込みます。
2. 深さゲージのギヤ部分を上に向けて、サイドハンドルに取り付けてください。
3. 取り付け後、先端から押し込んで動かないことを確認してからご使用ください。

### 取り外し方

「深さゲージ調節ボタン」を押しながら、深さゲージを抜き取ります。



## 起動スイッチの操作

- ・スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。
- ・スイッチの引金の引き加減により、お望みの回転数および打撃数が得られます。



**注意**

本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

## ライトの点灯

- ・スイッチの引金を引くと点灯し、離すと消灯します。

※ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。ライトの光が連続して目に当たると、目をいためる原因になります。

### 正逆転切り替えレバーの操作

- ・正逆転切り替えレバーを押すと回転方向切り替えます。
- 時計回り：締まる
- 逆時計回り：緩める
- ・正逆転切り替えレバーを中間の位置にすると、スイッチ引金が引けなくなります。

#### ⚠ 注意

- ◆ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
- ◆正転・逆転の切り替えは、モータの回転が停止した状態で行ってください。回転中に切り替えますと故障の原因になります。
- ◆本機を使用しない時に正逆転切替レバーを中間の位置にしておいてください。

### 深さゲージを調節する(穴あけ作業時)

1. 「深さゲージ調節ボタン」を押しながら、開けたい穴の深さに合わせて深さゲージを動かします。
- ※ドリルビットをツールホルダーの後方に押し込んで、あそびのないことを確認してください。
2. 位置決めが終わったら、「深さゲージ調節ボタン」から指を離します。深さゲージを先端から押し込んで、動かないことを確認してください。

### 作業切り替えレバーの操作

「作業切り替えレバー」をそのまま横に捻り、モードを切り替えてください。“カチッ”と音がして、「作業切り替えレバー」が正しくセットされたことを確認してください。

#### ⚠ 注意

- ◆本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「作業切り替えレバー（モード）」を切り替えてください。「起動スイッチ」を引く時、「作業切り替えレバー（モード）」は絶対に切り替えしないでください。

コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ



打撃+回転

木材、金属、プラスチックなどの穴あけ



回転

破つり



打撃

### 保守・点検について

ハンマードリルを使った後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリーは 50° C 以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。

困った時は

## 故障かな？と思ったら

- ①『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
スイッチの引金を引き込んでも、回らない	バッテリーが消耗している  引金スイッチ故障	バッテリーを充電するか、交換する  販売者に連絡する
スイッチの引金が引き込めない	正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチが中途半端な位置になっている	「正転」か「逆転」の位置にしっかりと切り替える
穴あけなどに時間がかかる (穴があかない)	先端工具が摩耗している バッテリーが消耗している 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ」が“逆転”の位置になっている	先端工具を研磨するか、交換する バッテリーを充電するか、交換する 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ」を“正転”の位置に切り替える

※バッテリー寿命の場合は充電できなくなることがございます。バッテリー寿命の場合は新しいバッテリーをお買い求めください。

## 保 証 書

弊社商品をお買い上げ頂きありがとうございます。  
弊社製品をいつまでもご愛用いただけますように下記の条件で保証させていただきます。

### 保証条件

- 1) 購入年月日より1年間を保証期間とし、交換・返金・修理等の無償サービスをいたします
- 2) 保証期間外は、修理実費、その他を頂戴いたします
- 3) 下記の場合は保証は適用されません
  - ・誤った取扱や雑な取扱に起因する場合及び正しい保管方法を怠った場合
  - ・不当な修理や改造された場合
  - ・火災などの天変地異による場合
  - ・想定範囲を超える使用過程での劣化などによる故障と判断した場合
  - ・第三者から譲り受けた場合及び購入が証明できない場合
  - ・使用状況や痕跡、汚れ等により対象外と判断された場合
  - ・故障していない又は故障と判断されない場合
  - ・正規販売店以外から購入された場合
  - ・ホームページ（製品保証）に記載の内容及びその他

お買上製品 :

ご注文番号 :

不具合数量 :

不具合の説明 :

ご希望の対応 :

お問合せの際は下記の HP アドレスか QR コード読み取り  
カスタマーサービスにご連絡ください。

Artisan Tool HP : <https://www.artisantool.net/2>

※お電話での対応は行っておりません

カスタマーサービス

# Artisan Tool

